

\*2024年 8月改訂(第2版)  
2023年11月改訂(第1版)

日本標準商品分類番号

877324

## 歯科用小器具消毒剤 ベンゼトニウム塩化物液

承認番号 20100AMZ00303000

販売開始 1989年 7月

貯法：室温保存  
有効期間：3年

# ラスノン®メディカル液

## RUSNON® MEDICAL SOLUTION

### 3. 組成・性状

#### 3.1 組成

有効成分	100mL中 ベンゼトニウム塩化物 0.2g
添加剤	亜硝酸ジシクロヘキシルアミン(防錆剤)、pH調整剤、その他1成分

#### 3.2 製剤の性状

性状	本剤は、無色澄明な液で、においはない。
----	---------------------

### 4. 効能又は効果

#### 歯科用小器具の消毒

### 6. 用法及び用量

本液を常水で2倍にうすめ、10分間浸漬する。

厳密に消毒するには予め2%炭酸ナトリウム水溶液で洗い、その後ベンゼトニウム塩化物0.1%溶液(本品の2倍希釈液)中で15分間煮沸する。

### 14. 適用上の注意

#### 14.1 薬剤調製時の注意

本剤は常水で2倍希釈して使用すること。

#### 14.2 薬剤使用時の注意

14.2.1 本剤が目に入った場合は、多量の水で洗った後、必要に応じ専門医の処置を受けること。

14.2.2 血清、膿汁等の有機性物質は殺菌作用を減弱させるので、これらが付着している医療器具等に用いる場合は、十分に洗い落としてから使用すること。

14.2.3 石けん類は本剤の殺菌作用を弱めるので、石けん分を洗い落としてから使用すること。

14.2.4 合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具等への使用は避けること。

14.2.5 消毒液が揮発して、本剤の成分が析出することがあるため、本剤を使用する際の浸漬容器は常時ふたをすること。

14.2.6 消毒液の交換は、原則として7~10日ごとに行うこと。

14.2.7 歯科用小器具のうち、タングステンカーバイトバーについては長時間浸漬した場合、まれに変色や発錆を起こすことがある。

### 18. 薬効薬理

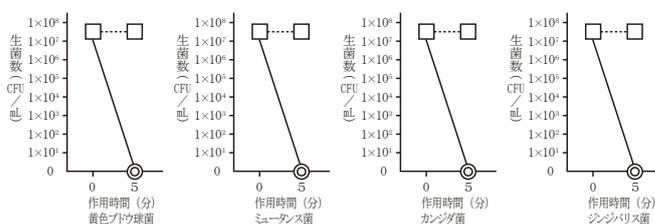
#### 18.1 作用機序

ベンゼトニウム塩化物は陽イオン界面活性剤で、芽胞のない細菌、真菌類に広く抗菌力を持ち、低濃度で殺菌作用を示す<sup>1~4)</sup>。また毒性が低い<sup>5)</sup>。

### 18.2 「ラスノン®メディカル液」の効果

本剤の2倍希釈液は、口腔内一般細菌である黄色ブドウ球菌(*Staphylococcus aureus*)、ミュータンス菌(*Streptococcus mutans*)、真菌のカンジダ菌(*Candida albicans*)、及び嫌気性菌のジンジバリス菌(*Porphyromonas gingivalis*)、に対して、5分間の作用時間で完全な殺菌効果を示した。

*S. aureus*、*S. mutans*、*C. albicans* 及び *P. gingivalis* に本剤の2倍希釈液を、5分間作用させた際の生菌数の変化を図1に示す<sup>6)</sup>。



◎ ラスノンメディカル液  
□ 対照

図1 ラスノン®メディカル液の殺菌効果

### 18.3 小器具の消毒試験

治療に用いた小器具から微生物を離脱し培養すると、全例に微生物の発育が認められた。一方、同じ検体に本剤を作用させて培養したときには、全例とも微生物の発育は認められなかった<sup>7)</sup>。

### 18.4 殺菌力の持続性

10日間、本剤を小器具の消毒に使用した後の薬液について抗菌力を調べた結果、*S. aureus*、*S. mutans*、*L. casei*、*E. coli*、*C. albicans* に対する殺菌力の低下は認められなかった<sup>7)</sup>。

### 19. 有効成分に関する理化学的知見

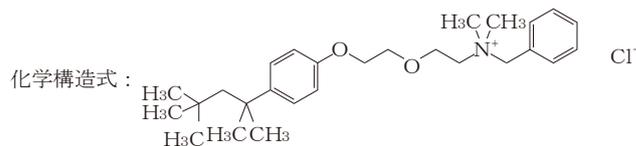
一般的名称：ベンゼトニウム塩化物 (Benzethonium Chloride)

化学名：N-Benzyl-N,N-dimethyl-2-[2-[4-(1,1,3,3-tetramethylbutyl)phenoxy]ethoxy]-ethylammonium chloride

分子式：C<sub>27</sub>H<sub>42</sub>C<sub>1</sub>N<sub>2</sub>

分子量：448.08

性状：本品は無色又は白色の結晶で、においはない。本品はエタノール(95)に極めて溶けやすく、水に溶けやすく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。本品の水溶液は振ると強く泡だつ。



### 20. 取扱い上の注意

直射日光を避けて保存すること。

### 22. 包装

1,200mL(ボトル)  
3,000mL(ボトル)

## 23. 主要文献

- 1) 第18改正日本薬局方解説書 廣川書店. 2021; C-5349-5352.
- 2) 難波芳道 ほか. : Nagoya J.Med.Sci. 1985; 47: 101-112.
- 3) 橋本良幸: 口腔衛生学雑誌. 1981; 31(3): 58-71.
- 4) 辻明良 ほか. : 感染症学雑誌. 1979; 53(6): 292-303.
- 5) 福田真也: 歯学. 1987; 74(6): 1365-1384.
- 6) 萩原義郷 ほか. : 福岡歯科大学学会雑誌. 1992; 19(4): 353-358.
- 7) 内山長司 ほか. : 歯薬療法. 1990; 9(1): 1-5.

## \*24. 文献請求先及び問い合わせ先

日本歯科薬品株式会社 お客様窓口  
〒750-0025 山口県下関市竹崎町4-7-24  
☎0120-8020-96/FAX 083-222-2220  
[ホームページ] <https://www.nishika.co.jp/>

## 25. 保険給付上の注意

本剤は保険給付の対象とならない(薬価基準未収載)。

## 26. 製造販売業者等

### \*26.1 製造販売元

 **NISHIKA** 日本歯科薬品株式会社  
山口県下関市竹崎町4-7-24